

県南 広域振興局長

提出者 株式会社オプトル

住所 〒025-0394 岩手県花巻市大畑第10地割109番地

氏名 代表取締役 社長執行役員 竹本 浩志

※リコーイング・ストリアルソリューションズ株式会社のオプティカル事業を株式会社オプトルに改編

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	株式会社オプトル花巻事業所	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県花巻市大畑第10地割109番地	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,762 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
株式会社オプトル 花巻事業所	岩手県花巻市大畑第10地割109番地	3,762 kl
		kl
		kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年比二酸化炭素 排出率 (%)	前年比二酸化炭素 排出率 (%)
	エネルギーの使用量			戻したエネルギー使用量						
	数量 A	単位	熱量(GJ) B	数量 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)	1.00	kL	33		kL	33	2		2	
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	1.00	kL	37		kL	37	3		3	
軽油		kL			kL					
A重油	744.00	kL	28,942		kL	28,942	2,048		2,048	
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	5.00	t	251		t	251	15		15	
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		Tm ³			Tm ³					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
可燃性ガス		t			t					
その他可燃性天然ガス		Tm ³			Tm ³					
原料炭		t			t					
コークス用原料炭		t			t					
吹込用原料炭		t			t					
一般炭		t			t					
輸入一般炭		t			t					
国産一般炭		t			t					
輸入無煙炭		t			t					
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		Tm ³			Tm ³					
高炉ガス		Tm ³			Tm ³					
発電用高炉ガス		Tm ³			Tm ³					
転炉ガス		Tm ³			Tm ³					
都市ガス		Tm ³			Tm ³					
その他の燃料 ()		Tm ³			Tm ³					
その他の燃料 ()		Tm ³			Tm ³					
小計①						29,262	2,068		2,068	
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	13,490.00	kWh	116,551		kWh	116,551	5,423		5,423	
電気事業者②(重複取引している場合使用)		kWh			kWh					
自己託送(非熱村由来を除く)		kWh			kWh					
自家発電		kWh			kWh					
太陽光		kWh			kWh					
水力		kWh			kWh					
風力		kWh			kWh					
その他		kWh			kWh					
小計③						116,551	5,423		5,423	
合計④=①+②+③						145,813	7,491		7,491	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	3,762	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	7,491 t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三フッ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	7,491 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和51年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

2024年度:CO2排出量8,610t以下に対し8,250tとなり達成。

CO2排出量の係数は計画策定時の係数を使用。

電気:0.471(kg-CO2/kwh)

重油:2.75(kg-CO2/L)

LPG:6.53(kg-CO2/m3)

ガソリン:2.29(kg-CO2/L)

灯油:2.50(kg-CO2/L)

軽油:2.62(kg-CO2/L)

※東北電力係数変動(係数0.402(kg-CO2/kwh))を反映後の排出量:7,345t

【具体的な取組状況】

- ①空調容積削減による空調エネルギー削減(40t/年)
 - ・工場生産エリアレイアウトによる蒸着室空調運用見直し(空調停止)(17t/年)
 - ・旧FX10エリアのレイアウトによる空調停止(23t/年)
- ②生産における要求仕様の最適化による生産環境維持のエネルギーを削減(50t/年)
 - ・第三工場車載組立室の室圧設定最適化による空調インバーター出力低減(33t/年)
 - ・第二工場チラー用循環ポンプの流量見直し(9t/年)
 - ・D室酸排気停止(3t/年)
 - ・第一工場東棟冷却水配管を第一工場系統と統合することによりポンプ停止(5t/年)
- ③インフラ設備更新によるエネルギー効率向上(3t/年)
 - ・事務フロア空調のEHP空調化及び室内機細分化(3t/年)
- ④生産QCD改善によるエネルギー削減(1t/年)
 - ・生産設備集約による電力削減(1t/年)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・金属廃棄物の有価売却による有価物化による廃棄物の削減。(金属再利用)
- ・長期休暇に合わせて事業所外灯の一部消灯の実施。
- ・毎週水曜日と金曜日を「フレッシュアップデー(定時退社促進日)」と定めて定時退社の推進。